

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第10期中間期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

証券コード：8306

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成26年度中間期の業績および経営戦略についてご説明いたします。



平成26年度中間期の業績

平成26年度中間期の連結純利益は、5,787億円と、通期目標9,500億円対比の進捗率で60.9%となりました。

国内個人向け業務では、株式市場が昨年に比べ膠着傾向にあったこともあり、運用商品販売は低調に推移しました。一方、NISA口座数やお客さまの資産の預かり残高などは順調に増加し、今後のお客さまとのさらなる取引推進に向けた事業基盤は着実に強化されていると実感しています。国内法人向け業務では、低金利環境が続く中、M&A関連融資の手数料など投資銀行収益が好調に推移しました。消費税増税などによるマイナス影響から景気動向にやや不透明感がありますが、貸出機会を的確に捉えることで法人向け貸出残高も徐々に増加しています。

海外では、ウクライナ・中東の地政学リスクの高まり、欧州経済の停滞、アジアの成長鈍化など不安定な要素があり、一部の地域では、MUFGのビジネスにとって厳しい環境となりました。しかし、景気回復基調を強める米州の事業が好調に推移したことや、アユタヤ銀行の連結子会社化による収益貢献などプラス要因もあり、全体としては増益で着地しました。

財務の健全性の観点では、普通株式等Tier1比率が10.97%と現在の金融規制に照らして十分な水準を維持しています。適切な与信管理と国内企業業績の改善を背景に、不良債権比率も1.18%と、引き続き低い水準にとどまっています。

また、堅調な業績を反映し平成26年度の配当は、中間期9円、期末予想9円とそれぞれ当初予想から1円増額し、年間で18円(前年度比2円の増配)とすることを決定しました。併せて、1,000億円を上限とする自己株式取得の実施を決定しました。今後も、資本効率のさらなる改善と株主還元の一層の充実を目指してまいります。

経営戦略について

本年度は、3か年中期経営計画の総仕上げの年となりますが、後半も、中期経営計画目標の達成に向けて、グループ一体となって前進していきます。MUFGはこれまで、持続的な成長に向けて、国内外で事業基盤の強化に向けて取り組んできました。国内では、日本経済の再興に向け金融面から貢献することを軸に、個人の円滑な資産形成や企業の資金需要の創出に向けた商品やサービスを打ち出してきました。その結果、先に申し上げたとおり、NISA口座数や法人向け貸出残高などの点で一定の成果が得られました。今後も、事業基盤の強化に努めるとともに、お客さまに一層質の高いサービスを提供し、MUFGの収益成長へとつなげていきます。

海外では、平成27年1月に、三菱東京UFJ銀行のバンコック支店とタイのアユタヤ銀行の統合を予定しています。この統合を確実に成功させるとともに、MUFGならではの商品やサービスの拡充を図り、統合の相乗効果を発揮できるよう注力していきます。

また、昨今は、企業の持続的な成長に向け、企業と株主・投資家との対話が重視されるとともに、コーポレート・ガバナンスにも注目が集まっています。MUFGは、社外取締役の導入やガバナンス委員会の設置、積極的な情報開示に取り組んできました。今後も、持続的な企業価値向上に向け、事業力を強化するとともに、情報開示の充実、ガバナンス態勢のさらなる高度化に努めてまいります。

MUFGは、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指し、皆さまの期待や信頼に応えてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年12月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

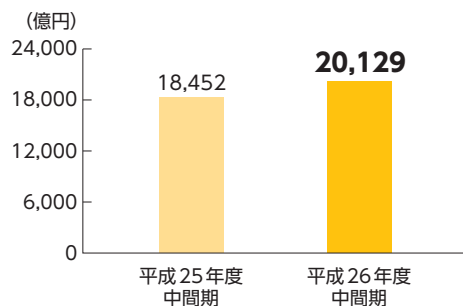
平野信行

平成26年度中間期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結中間純利益は、通期業績目標9,500億円対比60.9%の進捗となる5,787億円
- 貸出金は、前年度末比6,321億円増加、預金は、6,244億円減少
- 普通株式等Tier1比率は、10.97%

連結業務粗利益



アユタヤ銀行の連結化などに加え為替の影響もあり海外の資金利益や役員取引等利益が堅調に推移しました。また、国内の役員取引等利益も増加しました。特定取引利益、その他業務利益は減少となりましたが、連結業務粗利益は、前年同期比1,676億円増加し20,129億円となりました。

■ 損益の状況 (連結)

● 連結業務粗利益 (信託勘定償却前)

資金利益	
信託報酬+役員取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費 (△)	
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額 (△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益 (△)	
連結中間純利益	

(単位：億円)

平成25年度中間期 (平成25年4月～9月)	平成26年度中間期 (平成26年4月～9月)
18,452	20,129
9,086	10,357
6,181	6,613
3,184	3,157
770	893
11,202	12,355
7,250	7,773
257	411
434	229
686	1,039
△ 124	45
8,504	9,498
△ 277	△ 689
△ 2,121	△ 2,425
803	596
5,302	5,787

営業費

アユタヤ銀行の連結化や海外業務拡大に伴う費用の増加、為替の影響、消費税の増加などにより、営業費は前年同期比1,153億円増加しました。

与信関係費用総額*

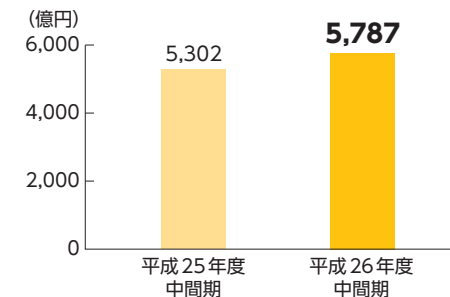
貸出先の信用力の改善を主因に、与信関係費用総額は411億円の戻り益となりました。

* 与信関係費用 (信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関連費用 (臨時損益) + 償却債権取立益 + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益 (与信関連)

株式等関係損益

株式等売却益の減少を主因に、株式等関係損益は前年同期比205億円減少し、229億円となりました。

連結中間純利益

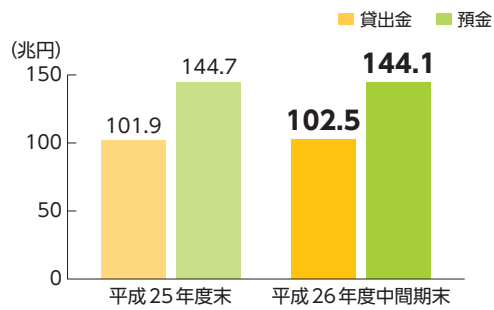


連結中間純利益は、前年同期比485億円増加し、5,787億円となりました。今年度の通期目標9,500億円に対する進捗率は、60.9%となりました。

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

平成26年度中間期の業績

貸出金・預金



貸出金残高は、海外貸出の増加を主因に、前年度末比6,321億円増加しました。預金は、個人預金は増加しましたが、国内法人預金・海外預金が減少し、全体で6,244億円の減少となりました。

資産・負債の状況(連結)

項目	平成25年度末	平成26年度中間期末
資産の部合計	2,581,319	2,644,581
貸出金(銀行勘定)	1,019,389	1,025,710
有価証券	745,155	731,793
うち国債*	404,349	389,478
負債の部合計	2,430,190	2,491,151
預金	1,447,602	1,441,358
純資産の部合計	151,128	153,430

* 「その他有価証券」に含まれるもの

不良債権の状況

項目	平成25年度末	平成26年度中間期末
不良債権(金融再生法開示債権)	14,181	12,099
不良債権比率	1.41%	1.18%

有価証券評価損益の状況(連結)

項目	平成25年度末	平成26年度中間期末
その他有価証券評価損益	18,699	27,516

自己資本の状況(連結)

項目	平成25年度末	平成26年度中間期末
普通株式等Tier1比率	11.25%	10.97%
Tier1比率	12.45%	12.21%
総自己資本比率	15.53%	15.39%
リスク・アセット	990,843	1,041,601

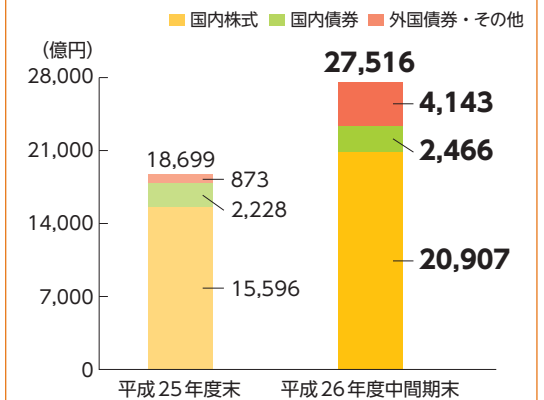
(単位：億円)

国債

日本銀行の量的緩和政策に対応し、国債*の保有残高は、前年度末比1.4兆円減少し、38.9兆円となりました。今後も、国債の安定保有を原則としつつ適切に管理を行っていきます。

* 「その他有価証券」に含まれるもの

有価証券の含み損益



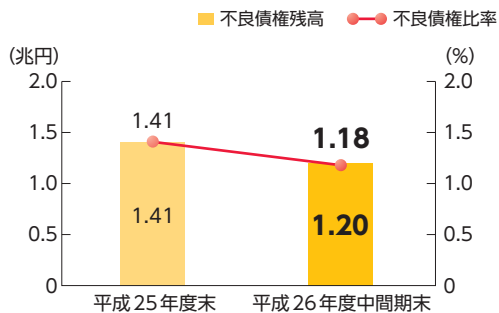
株式相場の上昇による国内株式の評価益増加や、市場金利の低下による外国債券の評価益の増加等により、8,817億円の増加となりました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は10.97%と、十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

不良債権残高・比率*



不良債権比率は1.18%と、前年度末比0.22ポイント低下しました。

* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

1 海外口座ご紹介サービス 「クルンシィ タイ ベネフィットパッケージ」*1 取扱い開始

三菱東京UFJ銀行は、平成25年12月に子会社化したタイのアユタヤ銀行の口座を日本でお申込みできるサービスを開始しました*2。日本語で口座開設手続きサポートを受けられる、現地での生活に必要な資金を事前に送金できるなど利便性が高く、タイに赴任されるお客さまを中心に幅広くご利用いただいています。

アユタヤ銀行はタイ国内に600カ店以上の支店と4,000台以上のATMを有する銀行で、日本語対応のATMやコールセンターを設置するなど日本人のお客さま向けサービスの向上に努めています。

三菱東京UFJ銀行のホームページまたは専用コールセンターより申込書をお取り寄せの上、郵送でお申し込みいただけます。



*1 クルンシィ(Krungsri)は、「偉大な都」を意味するアユタヤ銀行のタイ語名称の一部です。

*2 ご利用には、タイに在住予定の日本居住者であることなど一定の要件があります。

三菱東京UFJ銀行 専用コールセンター

☎ 0120-786-125

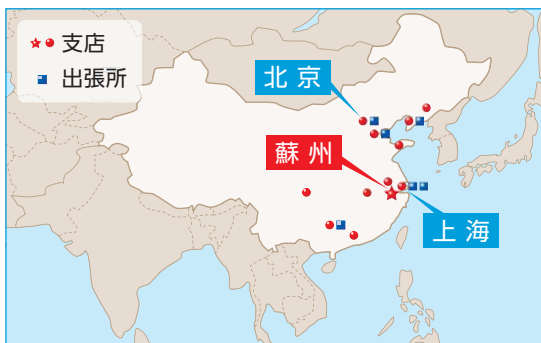
(受付時間：月～金 午前9時～午後7時)

※日本の祝日は除く

2 三菱東京UFJ銀行、中国・蘇州に支店開設

三菱東京UFJ銀行の中国の全額出資子会社である三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司は、平成26年6月、蘇州支店を開設しました。蘇州市は、GDPで中国国内2位の経済規模の江蘇省の中核都市で、上海と並ぶ長江デルタ経済圏の中心地です。製造業を中心に多くの外国企業が進出しており、近年はサービス業の進出も盛んになってきています。

蘇州支店の開設により同行の中国拠点(香港地区を除く)は、日本の銀行として最多の18拠点となりました。同行は、このネットワークを活かし、さらに利便性の高いサービスを提案していきます。



3 東北6次産業化*1ファンド、 青森のりんご加工業者に出資(第1号案件)

三菱東京UFJ銀行、三菱UFJキャピタルおよび東北4県の地域金融機関等*2は平成25年、主に東北地域および農林漁業の発展に貢献することをめざし「東北6次産業化サポート投資事業有限責任組合」を設立しました。同ファンドは平成26年9月、第1号案件として、青森県のカットりんごの製造・販売を行う株式会社ヒロサキに約3,000万円の出資を行うことを決定しました。カットりんご事業は、農業者の所得向上や後継者の育成、継続的な地域の雇用創出などにつながると期待されています。

MUFGは、引き続き農林漁業の成長産業化や地域の活性化に積極的に取り組んでいきます。



カットりんご商品の一例

*1 農林漁業と、製造・加工業、流通・販売業を有機的に結びつけることで新たなビジネスを創出する取り組み

*2 青森銀行、秋田銀行、岩手銀行、山形銀行、農林漁業成長産業化支援機構

4 三菱東京UFJ銀行、スリランカ投資庁と業務提携

三菱東京UFJ銀行は、スリランカ民主社会主義共和国のスリランカ投資庁との間で、同国への投資促進に向けた業務提携に関する覚書を締結しました。

スリランカは、平成21年の内戦終結以降、復興需要や観光業の発展により高い経済成長を実現しています。また、インフラ関連の投資も活発化しており、日本企業をはじめとする外国企業からの関心が高まっています。

三菱東京UFJ銀行はこの覚書の締結により、同庁とのセミナーの共同開催や、スリランカのビジネス環境などに関する情報提供を通じて、同国での事業展開を検討するお客さまを積極的に支援していきます。



調印式の様子

MUFGは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、「地球環境問題への対応」の一環として進めている「守ろう地球のたからもの」プロジェクトと地域貢献活動をご紹介します。

「守ろう地球のたからもの」

MUFGでは、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で、「守ろう地球のたからもの」プロジェクトの一環として、白神山地周辺での育樹を行っています。

平成20年以来5年間で合計10万本のブナやミズナラなどの苗木の植樹を行い、平成25年からは、それらの苗木を育てる「育樹」を行っています。

平成26年7月には、MUFGの社員約40名がボランティアとして参加し、地元の方と一緒にブナの苗木の周りに茂った雑草刈りを行いました。

苗木の成長は1年でわずか10cmから20cmで、森の再生には長い時間がかかりますが、白神山地の豊かな森を未来の子どもたちに引き継ぐため、MUFGはこのような活動を続けていきます。



MUFGの地域貢献活動(第8回)

高知

三菱UFJ信託銀行は、高知県が進める「環境先進企業との協働の森づくり事業」に参画し、森林保全活動を行っています。

平成26年10月には、社員とその家族37名が参加し、地域の森林組合の方の指導のもと、高知県大豊町の「三菱UFJ信託・『想い』をつなぐ森」で間伐を行いました。

森林の中を明るく保ち、健全な木を真っ直ぐ育てるために欠かせない間伐作業を体験したボランティアからは、「環境の大切さ、森を守る大切さを実感できた」といった感想が寄せられました。



北海道

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、地域貢献活動の一環として、「ふるさと清掃運動会」への参加を推進しています。王貞治氏を実行委員長とし、身近なところから環境保全活動をしようと呼びかけているこの会には、全国の市民団体や企業が参加しています。

平成26年10月には、同社の札幌支店の社員や家族23名が参加し、札幌市内の中島公園の花壇整備や清掃を行いました。



「CSRレポート2014」発行

平成26年9月、MUFGは、「CSRレポート2014」を発行しました。本誌を通じて、企業の社会的責任(CSR)活動の内容や課題を皆さまにご報告しています。同誌はMUFGのホームページに掲載しており、冊子版はホームページよりご請求いただけます。

CSRレポートのホームページ <http://www.mufg.jp/csr/csrreport/>



MUFG 株主セミナー開催のお知らせ

MUFGでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、下記のとおりセミナーを開催いたします。なお、当社株式を長期に保有いただいている株主さまへの感謝として、ご応募いただいた方のうち、当社株式を5年超保有*の株主さまの当選倍率を通常より2倍に優遇させていただきます。

*中間期末日および期末日の株主名簿に連続11回以上記載

1. 動画配信

経済セミナーおよび相続セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

|| リンク先情報

当社ホームページ内『動画配信』(<http://www.mufig.jp/investors/movie/>)

|| ユーザー名 || パスワード
mufig 201503

2. 開催概要

募集対象者 …………… 平成26年9月末時点で当社株式をお持ちの株主さま
(ご同伴は1名さままで可)

参加費 …………… 無料

① 経済セミナー(東京・大阪・名古屋)

開催日 募集人数	【名古屋】愛知県名古屋市中区	平成27年3月16日(月)	各回150名
	【大阪】大阪府大阪市中央区	平成27年3月17日(火) 平成27年3月18日(水)	各回130名
	【東京】東京都千代田区	平成27年3月19日(木)	各回380名
時間	[午前の部] 10:30 ~ 12:00頃 [午後の部] 14:00 ~ 15:30頃		
開催場所	各地域のグループ会社内会議室		
内容	テーマ:「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査本部長 五十嵐 敬喜氏		



五十嵐 敬喜氏

② 相続セミナー(東京)

開催日 募集人数	平成27年3月11日(水) 200名
時間	18:30 ~ 20:00頃
開催場所	東京都千代田区内の会議室
内容	テーマ:「身近な相続対策」(仮題) 三菱UFJ信託銀行のトラストファイナンシャルプランナーが事例を交えて解説します。

3. 応募要領

応募方法: 同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 平成27年1月5日(月) 消印有効

ご記入要領

- ご希望のセミナーおよび開催日時を選択してください(いずれか一つをお選びください)。
- 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

抽選の上、当選された株主さまには平成27年2月中旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先: 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG 株主倶楽部
専用デスク

0120-321-629 (通話料無料)

代表電話

03-3240-8111 (通話料有料)

受付時間: 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00

会社情報 / 株式情報

取締役・監査役 (平成26年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	園 潔	取締役	長岡 孝	取締役*	松山 遙
取締役副会長 (代表取締役)	若林 辰雄	取締役	岡本 純一	常勤監査役	根本 武彦
取締役社長 (代表取締役)	平野 信行	取締役	野口 裕幸	常勤監査役	三雲 隆
取締役副社長 (代表取締役)	田中 正明	取締役*	荒木 隆司	監査役**	池田 靖
専務取締役 (代表取締役)	結城 泰平	取締役	川本 裕子	監査役**	小島 秀雄
専務取締役 (代表取締役)	加川 明彦	取締役*	奥田 務	監査役**	佐藤 行弘
常務取締役 (代表取締役)	黒田 忠司	取締役*	岡本 園衛		

* 荒木 隆司、奥田 務、岡本 園衛、松山 遙の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
** 池田 靖、小島 秀雄、佐藤 行弘の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL: http://www.mufig.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)
	事務取扱場所
	お問い合わせ先・郵便物送付先
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

■ 株式に関する手続き

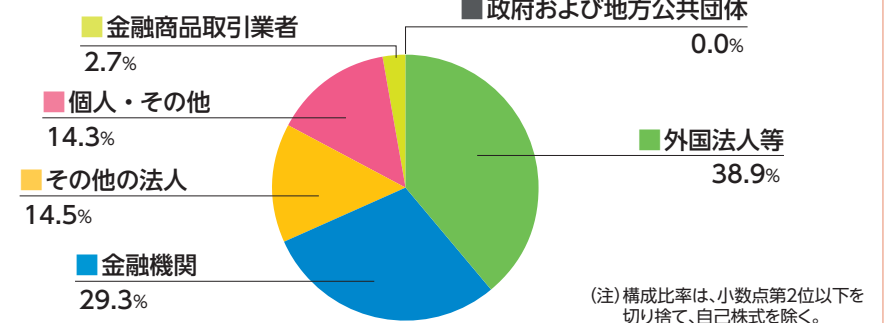
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問い合わせください。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注) 「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化移行時までに、証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

株式の状況 (普通株式) (平成26年9月30日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,168,606,920 株
	株主数	731,694 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	所有株式数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	709,376,800	5.00
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	574,759,700	4.05
3 ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	265,401,004	1.87
4 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエー エヌブイ 10 (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	239,561,431	1.69
5 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	184,693,455	1.30
6 日本生命保険相互会社	182,072,553	1.28
7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
8 ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505225 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	162,309,088	1.14
9 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 1)	157,865,900	1.11
10 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 6)	157,366,400	1.11
合計	2,808,406,331	19.82
発行済株式総数	14,168,606,920	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人であります。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
『いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい』
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)